

日本アカデミー賞他 国内映画賞34部門受賞
『湯を沸かすほどの熱い愛』中野量太監督

「小さいうち」直木賞作家 中島京子原作

長いお別れ

蒼井優 竹内結子 松原智恵子 山崎努

北村有起哉 中村倫也 杉田雷麟 蒲田優惟人

監督:中野量太 脚本:中野量太 大野敏哉 原作:中島京子『長いお別れ』(文春文庫刊)

主題歌:優河「めぐる」(Pヴァイン・レコード)

企画:アスマック・エース Hara Office 企画協力:文庫春秋 制作プロダクション:ドワンゴ・エンタテインメント

テレビ東京開局55周年記念作品 配給・制作:アスマック・エース ©2019『長いお別れ』制作委員会

助産:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術振興会

だいじょうぶ。
記憶は消えても、
愛は消えない。

ゆっくり記憶を失っていく父との、お別れまでの7年間。笑って泣いて、前に進んでいく家族たちの、新たな愛の感動作!





蒼井優 竹内結子 松原智恵子 山崎努
『湯を沸かすほどの熱い愛』の監督が贈る新たな愛の感動作



次女・芙美
カフェ開店の夢も
恋愛関係も
うまくいっていない



母・曜子
専業主婦として、
夫と娘たちを
支えてきた。

[STORY] 父の70歳の誕生日。久しぶりに帰省した娘たちに母から告げられたのは、厳格な父が認知症になったという事実だった。それぞれの人生の岐路に立たされている姉妹は、思いもよらない出来事の連続に驚きながらも、変わらない父の愛情に気づき前に進んでいく。ゆっくり記憶を失っていく父との7年間の末に、家族が選んだ新しい未来とは—。近い将来65歳以上の1/5が発症するという(出典:厚生労働省)今や他人ごとではない認知症。父の発症により、自分自身の人生と向き合う事になる家族の7年間の、あたたかな眼差しをもって優しさとユーモアたっぷりに描いた本作。刻々と変化する時代が変わることのない大切なものを問う、昭和、平成、そして新しい時代へと繋がる希望に満ちた作品が誕生しました。



長女・麻里
慣れない海外生活に加え
夫と息子との関係にも
悩んでいる。



父・昇平
元・中学校校長。
認知症を患いゆっくり
記憶を失っていく。



長いお別れ

映画「長いお別れ」 土佐清水市上映会 (127分作品)

日時: 令和2年10月1日(木)

① 午後1時30分～3時37分 ② 午後6時30分～8時37分

場所: 土佐清水市立市民文化会館 **入場無料**

※聴覚障がい者用日本語字幕付上映です。

主催: 土佐清水市 [お問い合わせ] 土佐清水市じんけん課 0880-82-1124

- ① コロナウイルスの感染拡大の状況によっては上映を中止する場合があります。
- ② 映画を鑑賞される方は事前申し込みが必要となります。
- ③ 鑑賞される方は、必ずマスクの着用をお願いします。
- ④ 入場の際には手指の消毒をお願いします。
- ⑤ 検温を行い、明らかに発熱のある方は入場をお断りします。
- ⑥ 密集・密接を避けるため、十分に間隔を取った座席配置とさせていただきます。

nagatowakare.asmik-app.co.jp
©2019年 日本映画・ビデオ・ソフト・127分

エグゼクティブプロデューサー:豊島雅也、岡田一平 プロデューサー:栗原孝志、金子陽子 共同プロデューサー:藤井麻美、アソシエイトプロデューサー:小西麻子
ラインプロデューサー:山本北二 撮影:月水雄太 照明:谷本幸治 録音:糸野正人 美術:丸尾知行 衣装:吉村真由 衣裳小:小島千子、ヘア:AVY 小島真由
音楽:渡邊崇 編集:伊藤雅一 監修:伊藤雅一 音楽プロデューサー:水田大介 キュースタインクプロデューサー:河井あきか 宣伝プロデューサー:佐藤みゆみ 制作担当:道玉可夫 助監督:藤江健全
制作:アスミック・エース テレビ東京 TCエンタテインメント 朝日新聞社 住友商事 TBSラジオ エスピーエス 日本経済新聞社 BSテレ東 文芸春秋